

社会情報学科社会生活情報学専攻

a 高等学校教諭1種免許状「情報」

(2022年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位		
科目		単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	1	社会情報概論[2] 情報社会論(2) 情報倫理(2)	2
		コンピュータ・情報処理(実習を含む。)	1	情報処理実習A② 情報処理実習B② コンピュータの基礎② プログラミングの基礎② プログラミング基礎演習② ソフトウェア概論(2) アルゴリズム論及び演習Ⅰ(2) アルゴリズム論及び演習Ⅱ(2)	10
		情報システム(実習を含む。)	1	情報システム論及び実習Ⅰ[2] 情報システム論及び実習Ⅱ[2] 情報リテラシー演習(2)	4
		情報通信ネットワーク(実習を含む。)	1	情報ネットワーク論及び実習Ⅰ[2] 情報ネットワーク論及び実習Ⅱ[2] メディア史(2)	4
		マルチメディア表現・マルチメディア技術(実習を含む。)	1	オンラインデータ分析[2] メディア運用演習[2] 情報分析演習(2) メディア学基礎(2) 情報表現法(2)	4
		情報と職業	1	情報と職業[2] 社会政策・労働問題(2) 情報と法律(2)	2
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				—
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		4	情報科教育法Ⅰ[2] 情報科教育法Ⅱ[2]	4
				※12単位は教科に関する専門的事項の選択科目24単位から選択	12
	計		24		42
教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理[2]	2
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門[2]	2
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度要説(含学校経営)[2]	2
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学[2] 青年心理学(2)	2
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説[1]	1
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論[2]	2
	法及び生徒指導、教育的な学習の時間等の指導に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	総合的な学習の時間要説[1]	1
		特別活動の指導法		特別活動要説[2]	2
		教育の方法及び技術		教育の方法と技術[2]	2
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		ICT活用の理論と実践[1]	1
生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論[2]	2			
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		2			
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談[2]	2			
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習Ⅰ[2] 教育実習Ⅱ(2) 教育実習指導Ⅰ[2] 教育実習指導Ⅱ[2]	6	
	学校体験活動			—	
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)[2]	2	
大学が独自に設定する科目		12	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得	—	
合計		59		71	

注 本学開設科目(単位)欄のうち、○の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

社会情報学科環境情報学専攻

a 高等学校教諭1種免許状「理科」

(2023年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数		
科目		単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	1	物理の基礎Ⅰ [2] 物理の基礎Ⅱ [2] エネルギーと環境(2) 力とかたちⅠ(2)	4
		化学	1	化学の基礎Ⅰ [2] 化学の基礎Ⅱ [2] 環境科学 [2]	6
		生物学	1	生物の基礎 [2] 環境生理学 [2] エコロジー [2] 自然科学入門 (2) 生命のしくみ (2) 生命科学とくらし (2)	6
		地学	1	地学の基礎 [2] 宇宙地球科学 [2] 地球環境論 (2)	4
		物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、 化学実験(コンピュータ活用を含む。)、 生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、 地学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	物理基礎実験 (2) 化学基礎実験 (2) 生物基礎実験 (2) 地学基礎実験 (2)	2
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				-
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		4	理科教育法Ⅰ [2] 理科教育法Ⅱ [2] 理科教育法Ⅲ [2] 理科教育法Ⅳ [2]	8
	計		24	※9単位は、教科に関する専門的事項の 選択科目20単位から選択	39
教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 [2]	2
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門 [2]	2
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度要説(含学校経営) [2]	2
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 [2] 青年心理学 (2)	2
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説 [1]	1
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論 [2]	2
等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談	総合的な学習の時間の指導法	8	総合的な学習の時間要説 [1]	1
		特別活動の指導法		特別活動要説 [2]	2
		教育の方法及び技術		教育の方法と技術 [2]	2
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		ICT活用の理論と実践 [1]	1
		生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論 [2]	2
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談 [2]	2
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習Ⅰ [2] 教育実習Ⅱ (2) 教育実習指導Ⅰ [2] 教育実習指導Ⅱ [2]	6	
	学校体験活動		-		
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高) [2]	2	
大学が独自に設定する科目		12	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得	-	
合計		59		68	

注 本学開設科目(単位)欄のうち、○の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

b 中学校教諭1種免許状「理科」

(2023年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数		
科目		単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	物理の基礎Ⅰ[2] 物理の基礎Ⅱ[2] エネルギーと環境(2) 力とかたちⅠ(2)	4	
		物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理基礎実験[2]	2	
		化学	化学の基礎Ⅰ[2] 化学の基礎Ⅱ[2] 環境科学[2]	6	
		化学実験(コンピュータ活用を含む。)	化学基礎実験[2]	2	
		生物学	生物の基礎[2] 環境生理学[2] エコロジー[2] 自然科学入門(2) 生命のしくみ(2) 生命科学とくらし(2)	6	
		生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	生物基礎実験[2]	2	
		地学	地学の基礎[2] 宇宙地球科学[2] 地球環境論(2)	4	
	地学実験(コンピュータ活用を含む。)	地学基礎実験[2]	2		
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				-
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		8	理科教育法Ⅰ[2] 理科教育法Ⅱ[2] 理科教育法Ⅲ[2] 理科教育法Ⅳ[2]	8
			※6単位は教科に関する専門的事項の選択科目12単位から選択	6	
計		28		42	
教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理[2]	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門[2]	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度要説(含学校経営)[2]	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学[2] 青年心理学(2)	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育要説[1]	1	
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論[2]	2	
教科及び教職に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育要説[2]	2	
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間要説[1]	1	
		特別活動の指導法	特別活動要説[2]	2	
		教育の方法及び技術	教育の方法と技術[2]	2	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	ICT活用の理論と実践[1]	1	
		生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論[2]	2	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談[2]	2	
教科及び教職に関する科目	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ[2] 教育実習Ⅱ[2] 教育実習指導Ⅰ[2] 教育実習指導Ⅱ[2]	8	
		学校体験活動		-	
		教職実践演習	教職実践演習(中・高)[2]	2	
大学が独自に設定する科目		4	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得	-	
合計		59		75	

注 本学開設科目(単位)欄のうち、○の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻

a 高等学校教諭1種免許状「情報」

(2022年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数	
科目		単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	情報社会・情報倫理	1	社会情報概論[2] 情報社会論(2)	2
	コンピュータ・情報処理(実習を含む。)	1	情報処理実習A② 情報処理実習B② コンピュータの基礎② プログラミングの基礎② プログラミング基礎演習② 情報処理原論② ソフトウェア概論(2) アルゴリズム論及び演習 I (2) アルゴリズム論及び演習 II (2) スマートデバイス応用 I (2) スマートデバイス応用 II (2) オブジェクト指向プログラミング論及び演習 I (2) オブジェクト指向プログラミング論及び演習 II (2)	12
	情報システム(実習を含む。)	1	情報システム論及び実習 I ② 情報システム論及び実習 II ② 経営情報システム論(2) シミュレーション論(2)	4
	情報通信ネットワーク(実習を含む。)	1	情報ネットワーク論及び実習 I [2] 情報ネットワーク論及び実習 II [2] Webプログラミング I (2) Webプログラミング II (2)	4
	マルチメディア表現・マルチメディア技術(実習を含む。)	1	マルチメディア論及び実習 I [2] マルチメディア論及び実習 II [2] ニューメディア論 I (2) ニューメディア論 II (2) コンピュータグラフィックス I (2) コンピュータグラフィックス II (2) 画像情報処理論及び演習(2) ウェブデザイン(2)	4
	情報と職業	1	情報と職業[2] 社会政策・労働問題(2)	2
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			—
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	4	情報科教育法 I [2] 情報科教育法 II [2]	4
			※10単位は、教科に関する専門的事項の選択科目 38単位から選択	10
	計	24		42
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理[2]	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門[2]	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度要説(含学校経営)[2]	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学[2] 青年心理学(2)	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説[1]	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論[2]	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法、 教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	総合的な学習の時間要説[1]	1
	特別活動の指導法		特別活動要説[2]	2
	教育の方法及び技術		教育の方法と技術[2]	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		ICT活用の理論と実践[1]	1
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論[2]	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育相談[2]	2
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習 I [2] 教育実習 II (2) 教育実習指導 I [2] 教育実習指導 II [2]	6
	学校体験活動			—
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)[2]	2
大学が独自に設定する科目	12	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得	—	
合計	59		71	

注 本学開設科目(単位)欄のうち、○の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。